

# 平成29年度国際共同研究加速基金（帰国発展研究）

## 研究計画調書作成・記入要領（新規）

研究計画調書は、科研費の交付を申請しようとする者が、公募要領に基づいてあらかじめ当該研究計画に関する内容を記入し、独立行政法人日本学術振興会（以下、「日本学術振興会」という。）あて提出するものであり、**日本学術振興会の科学研究費委員会における審査資料となる**ものです。

つきましては、下記の点に留意した上で、誤りのないように作成してください。

なお、科学研究費委員会における審査の結果、採択された場合には、交付内定の通知が行われ、この通知に基づき交付申請書を提出し、研究計画等が適正と認められた場合に科研費が交付されることとなります。

### 記

- ・この作成・記入要領は、「国際共同研究強化（帰国発展研究）」の研究計画調書作成のための要領です。
- ・研究計画調書の作成に当たっては、公募要領で定めるルールに基づいて、研究代表者が責任を持って作成してください。
- ・各欄のタイトルが必ず頁の先頭に来るようにしてください。また、各項目で定められた頁数は超えないでください。なお、各項目の指示に沿って作成をした結果、空白の頁が生じても構いません。
- ・様式上で「※」で示している文章については削除して構いません。
- ・英語で作成された研究計画調書も受け付けます。
- ・提出前に、PDF ファイルに変換された研究計画調書の内容に不備（文字や図表等の欠落、文字化け等）がないか、必ず確認してください。

## I 様式設定

様式の余白は、上 20mm、下 20mm、左 25mm、右 25mm で設定してあります。余白の設定を変更すると、審査資料を作成する際、文字等の欠落等の恐れがありますので、設定を変更しないでください。

## II 研究計画調書（Web入力項目）

以下の項目は、「研究計画調書」の「Web入力項目」であり、作成に当たっては、研究代表者が国際共同研究加速基金（帰国発展研究）専用の科研費電子申請システム（以下、「帰国発展研究専用の電子申請システム」という。）において応募者情報の登録を行い、国際共同研究加速基金（帰国発展研究）の応募専用ID・パスワードを取得した上で、帰国発展研究専用の電子申請システムにアクセスして直接入力を行ってください。

Web入力項目は、「帰国発展研究専用の電子申請システム」によって作成される研究計画調書（PDF ファイル）の前半部分（「審査区分（系の区分）」「研究代表者氏名」等）及び後半部分（「研究経費とその必要性」）を構成することとなります。

Web入力項目に係る作成・入力要領は「平成29年度研究計画調書（Web入力項目）（国際共同研究加速基金（帰国発展研究））作成・入力要領」を参照してください。

### ○Web入力項目「前半部」

- ・審査区分（系の区分）
- ・最も関連の深い中区分・最も関連の深い小区分・次に関連の深い小区分
- ・研究代表者氏名
- ・研究代表者所属研究機関・部局・職

- ・研究者番号
- ・学位
- ・研究課題名
- ・開示希望の有無

○Web入力項目「後半部」

- ・研究経費とその必要性
- ・関連研究分野研究者（PDF ファイルには変換されません）

### Ⅲ 研究計画調書（添付ファイル項目）

以下の項目は、「研究計画調書（添付ファイル項目）」の内容であり、研究計画調書（PDF ファイル）の中間部分に当たります。

研究代表者は、「研究計画調書（添付ファイル項目）」について、日本学術振興会の科学研究費助成事業ホームページから様式を取得し記入したものを、「帰国発展研究専用の電子申請システム」にアクセスして添付してください（3MB 以上のファイルは添付不可）。

作成に当たっては、下記の指示及びそれぞれの欄の指示に従ってください。審査においては多数の応募研究課題が審査に付されることを考慮し、11ポイント以上の大きさの文字等を使用してください。

(1) 「研究目的」、「研究計画・方法」欄

研究計画調書に記載している指示に従って概要を含め記述してください。

(2) 「今回の研究計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法」欄

研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。

なお、科研費は国民から徴収された税金等でまかなわれるものであるため、研究者は、その研究成果を社会・国民にできるだけ分かりやすく説明することが求められています。このため、研究成果を社会・国民に発信する方法（例えば、ホームページの作成、研究成果広報用パンフレットの作成、公開行事等への参加、マスメディアへの発表予定）等についても記述してください。（公募要領6～7頁参照）

(3) 「これまでに海外で交付を受けた研究費とその成果等」欄

研究計画調書に記載している指示に従い、研究代表者がこれまで海外で独立した研究者として交付を受けた研究費について記述してください。

(4) 「研究業績」欄

研究計画調書に記載している指示に従って記入してください。なお、論文を記載する場合、電子ジャーナル等で頁数の表示がない場合には、「最初と最後の頁」の記入は不要です。また、産業財産権等の知的財産権を有する場合は、その旨記入してください。（特許出願番号等）

(5) 「人権の保護及び法令等の遵守への対応」欄

研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。なお、該当しない場合には、「該当なし」と記入してください。

(6) 「平成29年度国際共同研究加速基金（帰国発展研究）研究者調書」欄

次のことに留意し、1頁以内で記入してください。なお、1頁以内であれば「（職歴）」と「（現在の所属・職において独立して行っている研究活動状況及び海外における研究歴）」の行数はそれぞれ変更可能です。

① 「外国機関の所属年数（日本の研究機関との兼務除く）」

職歴のうち、これまで外国機関に所属している年数について、日本の研究機関に兼務して所属している期間を除き、端数を切り捨てて年単位で記入してください（日本の研究機関における職務の比重が小さい場合であっても、兼務している期間は除いてください）。

②「（職歴）」

海外、国内にかかわらず、これまでの全ての職歴について記入してください。

③「（現在の所属・職において独立して行っている研究活動状況及び海外における研究歴）」

現在の所属・職における研究活動について、独立して研究を行っており、ポストドクターのような立場ではないことが分かるように記入してください。また、海外の研究機関におけるこれまでの特筆すべき研究活動及びその成果等についても記入してください。

※「研究経費とその必要性」欄は平成29年度公募より電子申請システムにより入力することとしています。当該欄の入力に当たっては、「平成29年度研究計画調書（Web入力項目）（国際共同研究加速基金（帰国発展研究））作成・入力要領」を確認してください。